



受講のご案内

第11回

医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

公益社団法人 全日本病院協会

会長 西澤寛俊

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

さて、昨年には医療介護総合確保推進法に基づき、各都道府県において病床機能報告制度等のデータを活用した地域医療構想の策定が進められ、更に医療事故調査制度や看護師特定行為研修等の新たな制度もスタートしました。また、本年4月の診療報酬改定では、7対1入院基本料等の重症度、医療・看護必要度は大きく変更され、病棟群単位の届出の導入、医療機能の分化・強化・チーム医療の推進、医療従事者の負担軽減、地域包括ケアシステム推進のための取組強化等を目的とした種々の改定が行われました。

これらの状況を鑑みますと、各医療機関が今後も存続していくためにどのようにしたらよいか、複数の選択肢の中から自院の方向性を選んでいく、まさに岐路に立っているのではないかと思います。

その一方で、病院の経営環境如何にかかわらず、国民からは、常に安全で質の高い、安心できる医療の提供を求められております。さらに、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。

これらの諸問題に対処するために、トップマネジャーは施設運営に際し、医療実務(専門技術)と経営実務(管理技術)双方を兼ね備えねばなりません。しかし、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、平成18年度より、同事業を通じて作成した研修用教材を使用した研修会を開催致しております。医療界では数少ないケーススタディによる研修会であり、ご参加いただきました皆様よりご好評をいただいております。

本研修では、グループワークを中心に行っております。施設運営の際のモデルとなる民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指します。また、現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

各医療機関からの積極的なご参加をお願い申し上げます。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第11回 (平成28年度)

医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 平成28年9月～平成29年1月
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 本体価格 300,000円 (税込 324,000円) ※食事代・懇親会費含む

受講定員 30名

会場 公益社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F
TEL.03-5283-7441

申込締切 平成28年8月15日(月)

 公益社団法人 全日本病院協会

 公益社団法人 全日本病院協会

平成28年6月27日

理事長 殿
病院長 殿

公益社団法人 全日本病院協会
会長 西澤 寛俊
医療機関トップマネジメント研修事業
担当理事 徳田 禎久

「第11回 医療機関トップマネジメント研修コース」参加のご案内

日頃より、全日本病院協会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。
さて、当協会では、平成18年度より、会員病院の理事長・院長の方、あるいは将来の理事長・院長候補の方を対象にした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開講いたしております。

本研修コースは、当協会が経済産業省の委託事業において開発したトップマネジャー向けの研修用教材を使用し、主として戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指すものです。

本研修の大きな特徴は、テーマに関して全般的な講義を受けた後、参加者がグループワークで解決方法を考えるケーススタディ形式を行っていることにあります。

講師陣には、ケース作成にかかわり当協会の各委員会でも活動され、医療現場の実情を熟知されている方、経営についての専門家をお迎えいたしております。

第1回から第10回までに、全国各地から計366名のご参加をいただきましたが、医療界では数少ないグループワークによるケーススタディ形式の研修が大変好評でありました。また、各自が自分の考えをまとめる方法を学ぶと共に、他の参加者の考え方や経験を知ることにも可能となり、管理者としての経験の浅い方にも有意義な研修であったとのご感想をいただいております。

また、ケースの更新や新しいケースを追加しつつ、参加者の研修の評価も検討しながら、より効果的な質の高い研修会へと進化させております。

つきましては、第11回研修コースについて、別添パンフレットのとおり企画いたしましたのでご案内申し上げます。是非ともパンフレットをご高覧いただき、ご参加を検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、参加申込は平成28年8月15日（月）までとなっております。

本コース開始日（第1単位）は平成28年9月24日（土）・25日（日）です。

※受講料金は（公社）全日本病院協会の会員・非会員とも同一です。

【問合せ先・申込先】

公益社団法人 全日本病院協会 事務局

〒101-8378 東京都千代田区猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

ホームページ <http://www.ajha.or.jp/>

Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。



第1単位 9月24日(土)13:00~21:00 25日(日)9:00~15:00

(第1日目)オリエンテーション、医療概論、経営学概論

●講師
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
 李 濟民 小樽商科大学大学院商学研究科 教授

■概要
 <オリエンテーション>
 ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。
 <医療概論>
 医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。
 <経営学概論>
 医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

第1単位 1日目	13:00~14:30	医療概論	講義
	14:40~16:10	ケーススタディーの説明	説明
	16:10~19:00	経営学概論	講義
	19:10~	懇親会	

(第2日目)広報・ブランド管理、医療の質評価、DPCの活用

●講師
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
 <医療機関のブランド育成と広報>
 医療機関のブランド構築の基礎を事例を交えて説明する。広報に関してはクライシスコミュニケーションについても解説する。
 <医療の質評価、DPCの活用>
 急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これをを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。また、DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。

第1単位 2日目	9:00~11:35	広報・ブランド管理	講義
			グループワーク
	12:15~15:00	医療の質評価・DPCの活用	発表討議
			講義
			グループワーク
			発表討議

第2単位 10月15日(土)13:00~21:00 16日(日)9:00~15:00

(第1日目)財務管理、管理会計、BSC

●講師
 石井 孝宜 公認会計士
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授

■概要
 <財務管理、管理会計>
 財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にする。また、開示されている様々な病院開設主体及び病院の財務情報を確認することによりトップマネジメントとして認識すべき財務の視点を習得する。
 <BSCの解説>
 BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSCを用いた院内モチベーションのアップに事例について解説する。職員満足度と患者満足度の測定視点の提示。

■演習
 <経営指標事例の分析・評価>
 病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、生産性、財政状態について理解を深めるため実在する具体例や厚労省の病院経営指標を使用し、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように解説する。
 <BSC>
 BSCの実施方法の習得
 ・BSCの設計
 ・職員満足度調査の手法
 ・運用と進捗状況の把握
 ・顧客満足度調査に視点の提示

第2単位 1日目	13:00~16:10	財務管理・管理会計	講義
			演習
	16:20~21:00	BSC	質疑応答
			発表討議

(第2日目)安全管理、リスク管理

●講師
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
 <安全管理、リスク管理>
 医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第2単位 2日目	9:00~11:35	安全管理	講義
			グループワーク
	12:15~15:00	リスク管理	発表討議
			講義
			グループワーク
			発表討議

第3単位 11月5日(土)13:00~21:00 6日(日)9:00~15:00

(第1日目)在宅医療、医療における総合的質経営(TQM)基礎

●講師
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授
 飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長

■概要
 <在宅医療>
 高齢化社会において、持続可能な医療提供体制を考えると、医療政策上、在宅医療は有力な選択肢となる。また、在宅医療の提供、あるいは、その支援は地域一般病院を目指す際の検討課題となる。病院経営における在宅医療の可能性、位置づけを検討し、課題を明らかにする。
 <医療における総合的質経営(基礎)>
 医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。
 理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習
 <医療における総合的質経営(基礎)>
 ・理念・方針の徹底
 ・なぜ質が
 ・トップの役割
 ・組織の活性化
 ・改善の必要性
 ・改善活動の組織化
 ・推進方法検討
 ・(品)質管理
 ・総合的質経営

第3単位 1日目	13:00~16:50	在宅医療	講義
			グループワーク
	16:55~21:00	TQM基礎	発表討議
			講義
			グループワーク
			発表討議

(第2日目)医療における総合的質経営(TQM)応用

●講師
 飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
 柳川 達生 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 副院長

■概要
 <医療における総合的質経営(応用)>
 医療への総合的質経営(TQM)の導入事例(ケース・スタディ)GWと発表/質疑

第3単位 2日目	9:00~15:00	TQM応用	講義
			グループワーク
			発表討議

第4単位 1月7日(土)13:00~21:00 8日(日)9:00~15:00

(第1日目)人事管理、終末期医療

●講師
 池上 直己 聖路加臨床学術センター 臨床疫学センター 特任教授

■概要
 <人事管理>
 人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。
 <終末期医療>
 ガイドライン等の終末期医療を巡る政策動向を解説し、今後増える死亡退院に備えて、終末期医療の3つの類型に沿って、病院がどのように対応するかを解説する。

■演習
 <人事管理>
 ・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。
 <終末期医療>
 ・ケースにおける終末期医療の対応をもとに、自院における患者・家族への情報提供や判断に参画する方法を検討する。

第4単位 1日目	13:00~16:45	人事管理	講義
			グループワーク
	16:50~21:00	終末期医療	発表討議
			講義
			グループワーク
			発表討議

(第2日目)病床再編、医療連携

●講師
 池上 直己 聖路加臨床学術センター 臨床疫学センター 特任教授

■概要
 <病床再編>
 医療計画の歴史的背景から、地域医療構想による病床再編の可能性を解説し、現場・病院としての対応を提示する。
 <医療連携>
 連携は自院・自法人として提供しないと決めた分野について行うので、その対象は自院・自法人における病床・機能再編と表裏一体の関係にある。このような戦略的対応の阻害要因を解説し、対応を解説する。

■演習
 <病床再編と医療連携を一体的に検討>
 ・既存病床の転換や連携の新しいあり方について、自院・自法人における経験を踏まえて、ケースにおける対応を検討する。
 ・診療報酬の改定の動向を踏まえて検討する。
 ・終末期医療に対する対応も踏まえて検討する。

第4単位 2日目	9:00~15:00	病床再編・医療連携	講義
			グループワーク
			発表討議

第11回(平成28年度)

医療機関トップマネジメント研修コース

受 講 者 の 声



医療法人公世会
野市中央病院
副院長
公文 龍也

第2回受講者の声も書かれていました。南国病院中澤理事長の勧めでこの研修会を知り、自分が副院長になる半年前から参加させていただきました。既に病院経営をなさっている諸先輩方に混じっての参加となり、初めはかなり戸惑いもありましたが、最終的には参加して良かったと思えました。勿論、内容的にもですが、一番は人との繋がりができたということです。グループワークでは大小様々な病院の経営者・管理者の方が集まっているため、同じテーマでも当然違った意見が出ます。悩みや問題点もそれぞれで、それらはなかなか地元では話せない内容だったりもしますし、また自分個人や病院にとって何が強みで、逆に何が足りないかに気付くこともできました。これからもこの研修で知り合った皆様になげないような病院と地域作りに精進していきたいと思うとともに、また皆様にお会いできることを楽しみにしています。



医療法人すこやか
高田中央病院
理事長
荏原 正幸

トップマネジメント研修の最終日程が終了してから、早4ヶ月が経過した。何を学んだのだと自問する。適切なテーマ設定と入念に準備された講義資料、そしてグループ討議を中心にしたケーススタディーのおかげで、病院経営の様々なエッセンスを身につけることができた。と研修直後は思っていたが、正直、時間経過と共に記憶が抜け落ちてきており、資料を見返さないと内容を思い出せない領域もある。お恥ずかしい限りである。ただ、本研修の醍醐味は講義や資料だけではない。規模の大小や設立母体による立場の違いはあるが、病院経営に悩み、医療に真摯に取り組まれている多くの先生とお近づきになれたのは価値ある経験だった。自分たちも頑張らなければというモチベーションを頂き感謝している。



社会医療法人大雄会
総合大雄会病院
病院長
今井 秀

一臨床医として勤務してきた私が、本年4月、病院長に就任するよう命じられました。変革していこうという逸る気持ちと思うように進まないもどかしさを感じていたころ、理事長よりこの研修会への参加を勧められました。どのテーマもトップマネジメントに必要な不可欠ですが、断片的知識はあるものの、今まで系統的に講義をうけたことはありませんでした。今回の講義は、基礎から実践に即した内容構成で、非常に理解しやすく実り多いものでした。何とんでもこの研修の魅力は、グループワークでより実践的に解決方法を考えるケーススタディ形式であることです。同じ境遇の方々との意見交換は、共感を得たり、刺激をうけたりと大変有意義なものでした。信念をもって一歩踏み出そうと思います。皆様方に感謝申し上げます。



医療法人三井会
神代病院
副理事長
神代 由紀

この研修は私が受講しているものか迷いましたが、自分の視点の足りなさを感じていたため参加を決めました。講義の中にあつた企業のような広報活動を、そのまま自分のところに取り入れることは難しいと感じました。ただ、意識せずに過ごしていることを、医療をする人の使命感、責任感をもって、病院は社会的責任をはたしている事業だと提供する側で共有することも大事だろうと気づくことができました。まだ形になっていないBSCの活動は今後すすめていきたいと考えます。地域医療の病床再編後も存在し続ける、地域に必要とされる病院施設でありたいと思います。講師の先生から聞いた十思九徳をすこしでも心得ていければと考えています。受講された先生方からも貴重なお話を聞くことができました。ありがとうございました。

第11回 医療機関トップマネジメント研修コース

[受講申込書]

受講者氏名	ふりがな	年齢	印			
	個人のE-mail					
役職名		左記役職の職歴年数				
病院名						
病院所在地	〒					
	都道府県	TEL () - ()	FAX () - ()			
経営主体 (法人名)						
種別	一般 () 床	医療療養 () 床	介護療養 () 床	精神 () 床	感染 () 床	結核 () 床

※上記該当欄にご記入の上、下記受講申込先まで郵送またはFAXでお申込みください。
 ※上記の個人情報については、適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。

応募要項

- 受講対象
現在、理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方
- 受講定員 30名
- 受講料金 全4単位 本体価格300,000円 (税込324,000円)
※食事代・懇親会費含む
- 申込締切 平成28年8月15日(月)
- 受講申込・研修会場・お問合せ先
公益社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F
TEL. 03-5283-7441 FAX. 03-5283-7444



- 最寄駅
JR中央・総武線「水道橋」駅東口下車・徒歩4分
都営地下鉄三田線「水道橋」駅下車・徒歩4分